

とじょう
松戸市戸定歴史館 展示予定 令和7年度

〒271-0092 松戸市松戸714-1 Tel047-362-2050

通常展Ⅱ（前年度から継続）

「暦と調度— 春から夏の戸定邸」

会期 令和7年3月20日（木・祝）～6月6日（金）

【途中、一部資料の展示替えを行いながら実施します】

戸定歴史館が所蔵する数千点の歴史資料のなかから、春から夏にかけての調度品を選んで展示します。展覧会が始まる3月下旬のサクラの開花シーズンから、風薫る5月下旬まで、戸定が丘の自然とあわせて季節を感じられる展覧会です。

連携特別展

「まつど×とくがわ

— 昭武・武定の生きた明治・大正・昭和」

会期 令和7年7月12日（土）～8月31日（日）

水戸徳川家11代当主の徳川昭武は、隠居後、松戸の戸定が丘に私邸（戸定邸）を建設し、明治17年（1884）に移り住みます。昭武・武定（昭武2男、松戸徳川家初代当主）をはじめとする戸定邸の人びとは、周辺地域と関わりながら、新しい環境での生活を営みました。

本展では、戸定歴史館・松戸市立博物館の2館が連携し、それぞれの所蔵資料と視点で、戸定邸を取り巻く松戸市域の明治・大正・昭和を見つめ直します。小学生を中心に、子どもから大人まで「まつど」に親しんでいただける展覧会です。また、スタンプラリーや絵本の読み聞かせなどの関連イベントも予定しています。

通常展Ⅰ

「万博!」【仮称】

会期 令和7年10月4日（土）～令和8年1月12日（月・祝）

慶応3年（1867）、徳川昭武は将軍名代としてパリ万国博覧会へ派遣されました。日本が初めて公式に参加した万博です。昭武は、主要行事の終了後、ヨーロッパを巡歴し、再びパリへ戻り留学しました。また、明治9年（1876）にアメリカで開催されたフィラデルフィア万国博覧会にも御用掛として派遣され、万博閉幕後、渡欧して留學生活を送ります。

戸定歴史館所蔵の資料から、当時の万博の様子や昭武の動向を紹介する展覧会です。

通常展Ⅱ

「季節の祝いー 雛から武者へ」【仮称】

会期 令和8年2月14日(土)~5月10日(日)

戸定歴史館には、雛道具の一部など、松戸徳川家ゆかりの調度品が所蔵されています。これらの調度品の多くは、日用品として使用され、あるいは季節の行事に合わせて飾り付けられました。本展では、会期中の上巳の節句や端午の節句にあわせ、松戸徳川家ゆかりの調度品類を展示します。